

新たな特産品を開発し、地域産業の活性化に向けて 6次産業化推進拠点施設の整備について説明を受けた。

【課題整理】

課題として、利用者の確保や管理運営に係る体制の整備があり、改めて関係団体等から意見を伺ってきた。現状では、「既に商品開発が済んでいる方しか利用できない」などの意見が多数あり、施設機能にも課題があると捉え、再度検討を行ってきた。

【検討経過】

施設の配置等、専門的な見地からより具体的な意見を伺うため、「白鷹町6次産業化推進拠点施設整備検討会議」を立ち上げ検討を進めてきた。
○いただいた意見等
・本施設を利用したい

と考えるような内容にしてほしい。

- ・販売する場合、アドバイスをもらえる体制の整備。
- ・利用料を安価にすることや、町内の方を減免するなどの工夫が必要。

【基本構想の拡充】

「基本理念」や「基本方針」はそのままに、気軽に商品開発に着手できるワークスペースや、試作品のマーケティングのための販売スペースを追加するなど機能充実を図り、充分な作業スペースを確保するため、敷地を確保していく。

【運営管理・支援体制】

指定管理を基本に、スタート時には直営（委託を含む）での運営も視野に準備を進めていく。

- ・組織体制
- ①常勤職員 2人
- ②アドバイザー（非常勤） 1人

【利用料】

ワークスペースや貸工場の利用料については、類似施設の使用料を参考に設定していく。

【今後の対応】

引き続き、いただいたご意見を踏まえ、具体的な施設のレイアウトや導入機器のほか、施設の管理運営体制等について、詳細な検討を行っていく。

質疑

町外利用

委員 町外の方も利用できるのか。

当局 町外の方も利用可能としていきたい。通年、常に利用者がいるような状態にしたい。ただ、町の施設なので、利用料に差をつけることを考えていきたい。

組織体制

委員 常勤職員2人と非常勤のアドバイザーはいつからこの体制になるのか。

当局 基本的には施設オープンからとなるが、研修などが必要であれば、オープン前ということもある。

どりいむ農園との関わり

委員 どりいむ農園との関係性はどのように考えているか。

当局 新施設の販売スペースはあくまでもマーケティングに向けたものであり、機能分担しながら、相乗効果を生み出していきたい。

利用希望者

委員 利用希望者が増えた場合、施設が足りないということも想定できるがどうか。

町長 そのような形になることを期待したい。利用が活発になるよう、ぜひPRしてほしい。



商品開発の第一歩（真空パック）